

# 2008 年 5 月の東北地方の天候

## 【 5 月の特徴 】

### ○ 気温の変動が大きい

#### ( 1 ) 2008 年 5 月の概況

この期間、天気は数日の周期で変化したが、低気圧は日本の南海上や本州南岸を進むことが多かったため、東北北部は降水量が少なかった。また、上旬は前半を中心に暖気が入ったため、気温が平年を大きく上回ったが、上旬の終わりから中旬にかけてと下旬の後半には寒気が南下し低温となるなど、気温の変動が大きかった。20 日は日本の南海上の台風第 4 号を含む気圧の谷が通過し、荒れた天気となった。

月平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側で平年並。月降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。月間日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。

#### ( 2 ) 各旬の天候経過

**上旬：**この期間、5 日は寒冷前線が東北地方を通過したため雨となったが、その他の日は移動性高気圧におおわれておおむね晴れた。北海道の北を通過した低気圧にむかって暖気が入り、気温が平年を大きく上回る日が多かったが、9 日から 10 日にかけては寒気が南下した影響で気温が低くなった。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北地方でかなり少ない。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。

**中旬：**天気は数日の周期で変化した。期間の前半は、この時期としては強い寒気が南下し、気温の低い日が多かった。また、20 日は低気圧が発達しながら三陸沿岸を北上したため、東北太平洋側を中心に荒れた天気となり、強風や大雨による被害の発生したところがあった。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。

**下旬：**期間のはじめは、高気圧におおわれて晴れる日もあったが、期間の中ごろからは低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨となる日が多かった。26 日は上空に寒気を伴った気圧の谷が東北地方を通過したため、雷やひょうとなったところがあった。また、28 日からは寒気が南下し、気温が低くなった。

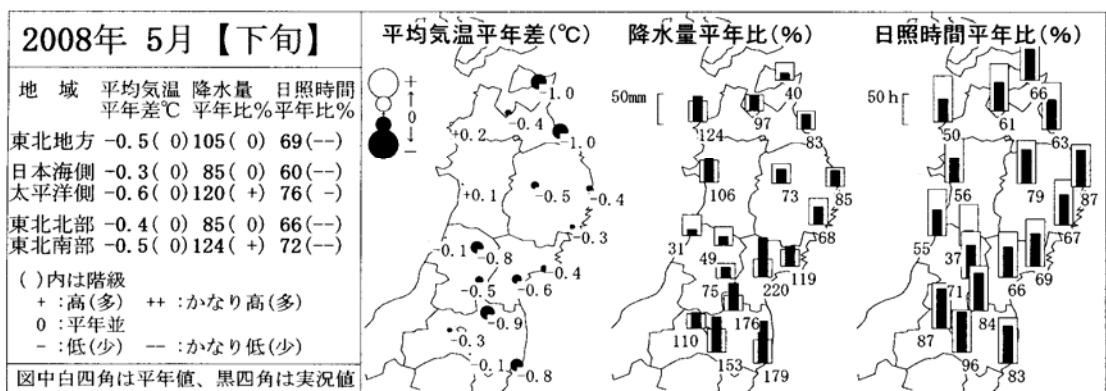
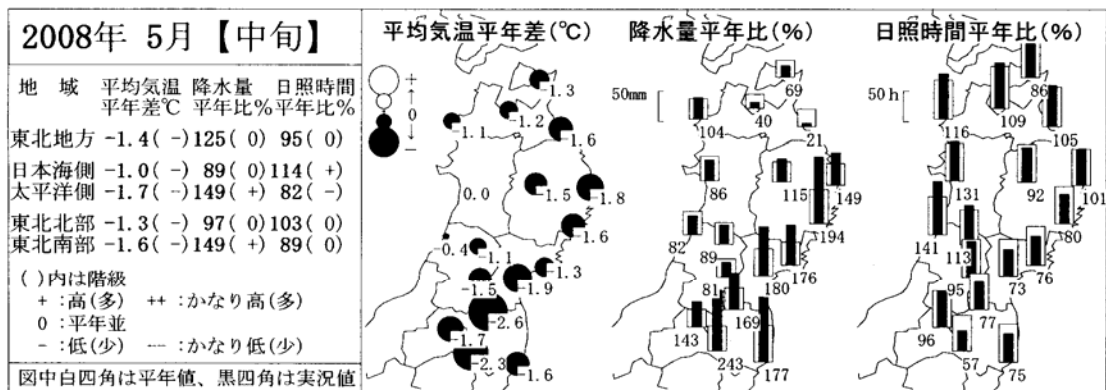
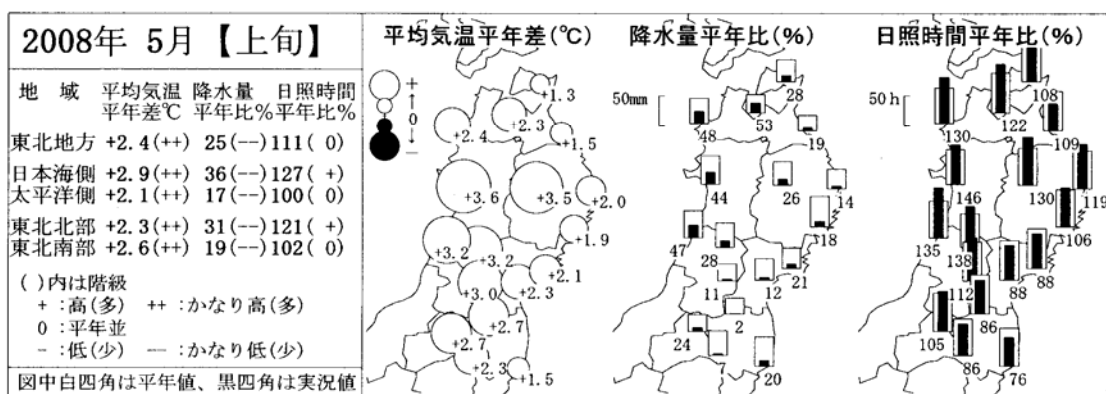
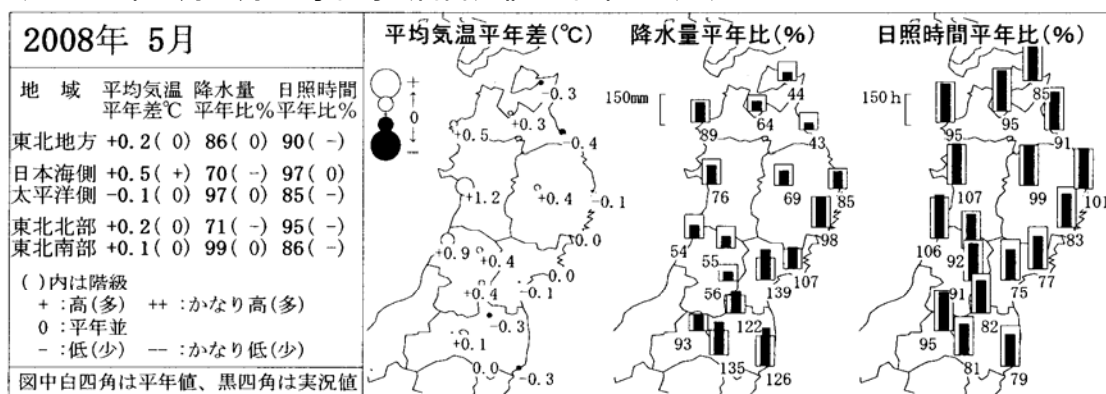
平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

### (3) 2008年5月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

注1) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2008 年 5 月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		
	(℃)	(℃)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
青 森	13.4	( +0.3)	○	50.5	( 64)	—	7	200.5	( 95)	○
深 浦	13.5	( +0.5)	○	97.0	( 89)	○	7	187.8	( 95)	○
む つ	11.8	( -0.3)	—	40.5	( 44)	—*	6	177.2	( 85)	—
八 戸	12.7	( -0.4)	—	36.0	( 43)	—	6	187.8	( 91)	—
秋 田	15.4	( +1.2)	+*	93.5	( 76)	—	6	203.9	( 107)	+
盛 岡	14.2	( +0.4)	○	71.0	( 69)	—	9	192.6	( 99)	○
大 船 渡	13.6	( 0.0)	○	147.5	( 98)	○	11	162.7	( 83)	—
宮 古	13.0	( -0.1)	○	84.0	( 85)	○	7	194.6	( 101)	○
仙 台	14.8	( -0.1)	○	149.5	(139)	+	11	149.5	( 75)	—*
石 巻	14.0	( 0.0)	○	105.5	(107)	○	8	158.8	( 77)	—*
山 形	15.8	( +0.4)	○	45.5	( 56)	—	7	183.7	( 91)	—
新 庄	14.6	( +0.4)	○	58.5	( 55)	—*	7	166.0	( 92)	—
酒 田	15.8	( +0.9)	+	62.5	( 54)	—	6	211.6	( 106)	+
福 島	16.2	( -0.3)	○	106.5	(122)	+	11	163.3	( 82)	—
若 松	15.6	( +0.1)	○	74.5	( 93)	○	12	188.9	( 95)	—
白 河	14.8	( 0.0)	○	162.0	(135)	+	12	152.3	( 81)	—
小 名 浜	14.8	( -0.3)	○	185.5	(126)	+	14	156.0	( 79)	—*

(注) 1. 平年値は 1971～2000 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い)      ○:平年並      -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めた。

また、値が 1971～2000 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+」に \* を付加した。この場合には

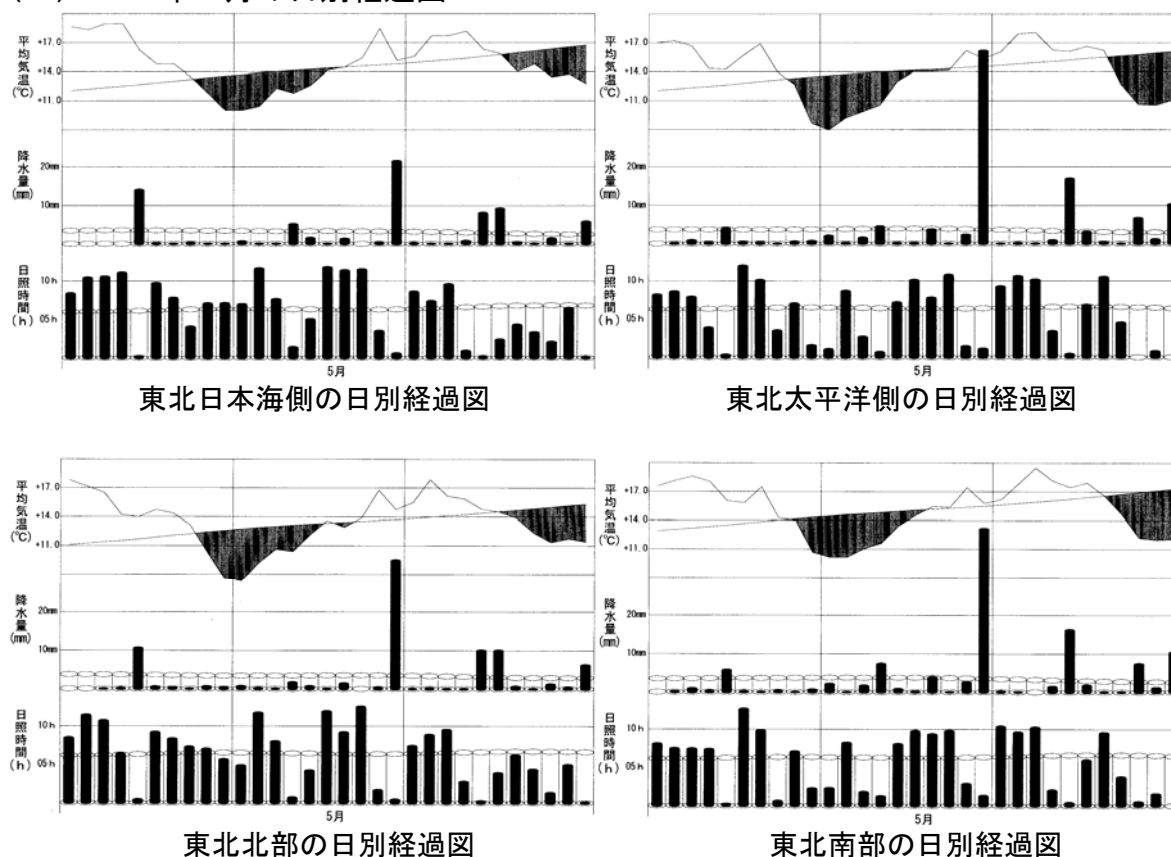
かなり高い(多い)      かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に ) や ] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準完全値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

## (5) 2008 年 5 月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

## (6) 2008 年 5 月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

3 位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新

3 位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

3 位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新

3 位以内はなし

月間日照時間多い方からの順位更新

3 位以内はなし

月間日照時間少ない方からの順位更新

3 位以内はなし

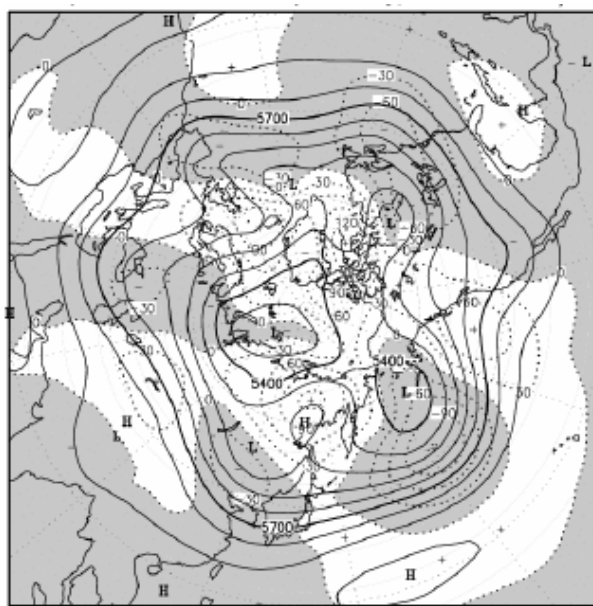
（注）平年値とは 1971～2000 年の 30 年間の値を平均したものである。

## (7) 2008 年 5 月の循環場の特徴

極渦は西シベリア北部の北極海、ベーリング海、ハドソン湾に南下し、高緯度はおおむね正偏差。

中緯度帯は正負の偏差が波列状に分布し、極東域では中国東北区に気圧の谷が位置し負偏差、日本の東海上は弱い正偏差。日本付近は西谷傾向で、暖気が入りやすかったことに対応している。

また、日本の南海上の負偏差は、台風の相次ぐ北上や梅雨前線の南偏に対応している。



2008 年 5 月の平均 500hPa 高度

実線は等高線：60m 毎、点線は偏差：30m 毎  
陰影部は負偏差（寒気に対応）

## (8) 2008 年の梅雨入りの状況

■ 平成 20 年の梅雨入り					
地方	平成 20 年	平年差	昨年差	平年	昨年
沖縄	5 月 22 日ごろ	14 日遅い	6 日遅い	5 月 8 日ごろ	5 月 16 日ごろ
奄美	5 月 22 日ごろ	12 日遅い	4 日早い	5 月 10 日ごろ	5 月 26 日ごろ
九州南部	5 月 28 日ごろ	1 日早い	4 日早い	5 月 29 日ごろ	6 月 1 日ごろ
九州北部	——	——	——	6 月 5 日ごろ	6 月 13 日ごろ
四国	5 月 28 日ごろ	7 日早い	16 日早い	6 月 4 日ごろ	6 月 13 日ごろ
中国	——	——	——	6 月 6 日ごろ	6 月 14 日ごろ
近畿	6 月 2 日ごろ	4 日早い	12 日早い	6 月 6 日ごろ	6 月 14 日ごろ
東海	6 月 2 日ごろ	6 日早い	12 日早い	6 月 8 日ごろ	6 月 14 日ごろ
関東甲信	6 月 2 日ごろ	6 日早い	20 日早い	6 月 8 日ごろ	6 月 22 日ごろ
北陸	——	——	——	6 月 10 日ごろ	6 月 21 日ごろ
東北南部	——	——	——	6 月 10 日ごろ	6 月 21 日ごろ
東北北部	——	——	——	6 月 12 日ごろ	6 月 29 日ごろ

(6 月 2 日 14 時現在の状況)

注)

・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に 5 日間程度の「移り変わり」の期間があります。ここに掲載した期日は移り変わりの期間の概ね中日を示しています。

・「平年」は、平成 12 年（2000 年）までの過去 30 年の平均（入り・明けを特定しなかった年は除外）の日付です。